

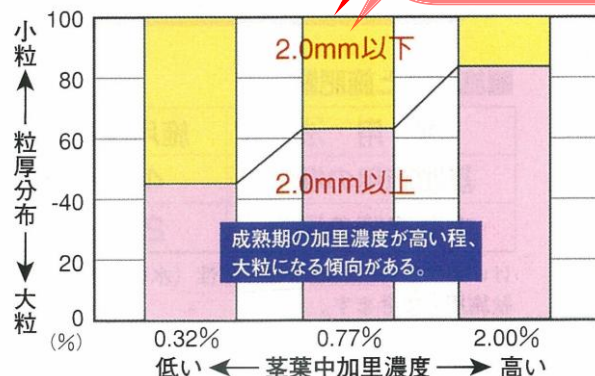
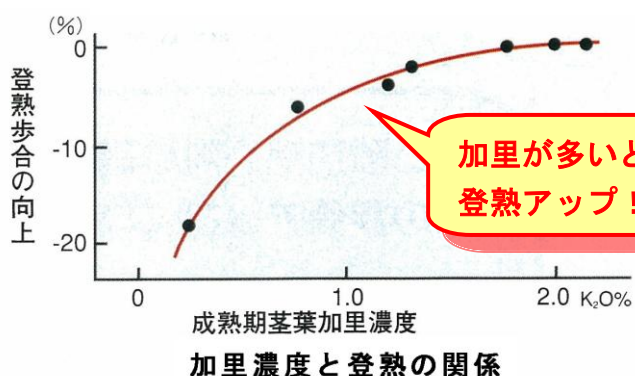
水稻へのカリの効果/営農情報

水稻栽培の肥料としては、窒素は最も重要ですが、カリもとても重要な要素です。
基肥や穂肥でカリを施肥しますが、カリにどのような働きや効果があるのでしょうか？

養分を行きわたらせます

カリはデンプンをモミの内部へ送り込むのに不可欠な成分です。
登熟期にカリが十分あれば、登熟歩合の向上や粒の肥大に役立ちます。

カリが多いと
大粒になる！



根張りが良くなります

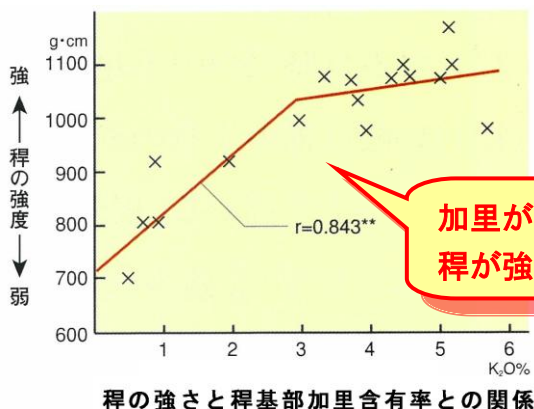
カリは根肥とも言われ、根張りを良くし、根の活性を維持します。

異常気象に強くなります

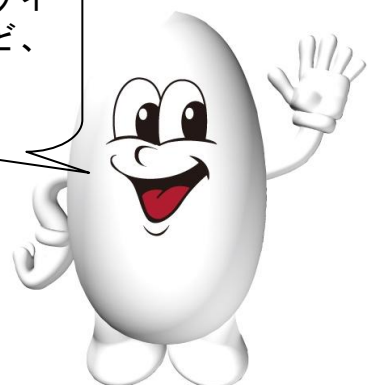
カリはヒカリ肥料とも言われ、日照不足時にカリが光合成をサポートします。
又、干害や冷害に対する抵抗性も高めます。

稈を強くし、倒伏に強くなります

稲体の茎葉の中にカリが多いと、稈の強度が高まり倒伏に強くなります。



倒伏軽減には、ケイ酸も大事だけど、**カリがとても重要です！**



けい酸加里のカリの特長

○利用効率が低い

けい酸加里のカリは、全量【く溶性加里】なので水には溶けず、流亡しません。水稲が必要とする分だけ吸収されるため、無駄がありません。

○効果が長い

けい酸加里のカリは長効きします。
中間追肥で施肥した場合でも約90日は肥効が続きます。
水稲においてカリが多く必要とされる生育後半まで、持続的に吸収されます。

○他の肥料成分も供給される

けい酸加里のカリはケイ酸と同時に吸収されます。
その際、苦土やホウ素などの各種ミネラルも供給されるので、各肥料分がバランス良く吸収されます。

保証成分(%)				含有成分(%)	
く溶性加里	可溶性けい酸	く溶性苦土	く溶性ほう素	石灰	鉄
20	34	4	0.1	7~12	2~5



けい酸加里の施用で

食味アップ!

登熟アップ!

乳白粒発生を軽減!

使い方	施肥量(10a当り)	施肥時期
基肥の場合	40~60kg	耕起前または田植同時
中間追肥の場合	20~40kg	出穂前45~35日

開発肥料株式会社